

氏 名		受験番号	
-----	--	------	--

2025 年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士後期課程 <一般入試>

統 計 学

以下の問(1)～(8)の中から 5 問 を選び、問番号を明示した上で、それぞれ回答しなさい。

- (1) 有意水準の値を低く設定することと、第一種の誤り、第二種の誤り、および、検出力との関係を説明しなさい。
- (2) ノンパラメトリック検定とはどのような分析と言えるか、概念的に説明しなさい（数式を用いる必要はありません）。
- (3) クラスター分析について、その概要を説明し、心理学ではどのような時に用いられる分析かを述べなさい。
- (4) 標準誤差（standard error）とは何か、説明しなさい。
- (5) 測定不変性（measurement invariance）とは何か、例を挙げながら説明しなさい。
- (6) クロンバックの α 係数とは何か、「折半法」という言葉を用いて説明しなさい。
- (7) あなたが自身の研究を進めるにあたってよく実施する分析方法を挙げなさい。そして、その分析方法が、統計分析ソフト等の問題によって実施できない場合に、代替りの分析としてどのように対応することが可能か説明しなさい。
- (8) 変数 A と変数 B の間の相関係数が統計的に有意であった場合に、「変数 A が変数 B に影響を与えている」と結論づけることには問題がある。どのような問題があるのか述べなさい。